

とやっ子

相模原市立鳥屋小学校
学校だより
第8号 23年12月22日
題字 香西 恵里



家族のひとりとして

校長 吉原 美世子

校庭では、赤や白のサザンカが美しい花を咲かせています。子ども達が使う手洗い場に、作業員の永瀬さんが「子ども達に潤いを感じてもらえれば……」と、きれいな花を飾っています。花の少ない時期ですが、赤や白のサザンカが栄えています。

子ども達が、秋に種を蒔いたパンジーもだんだんに苗を大きくして、花を咲かせる準備が整ったようです。きれいな花を咲かせてくれる日が楽しみです。

大そうじをしました！

20日(火)には、全校で大そうじをしました。一年の終わりに家中をきれいに掃除して、新しい年を迎える(年神様としがみさまを迎えるという意味だったと聞いたことがあります)というのは日本のよい伝統ですね。

子ども達も、教室や廊下、昇降口、トイレや手洗い場など、とても丁寧に掃除をしていました。寒いのに、冷たい水も何のその！あちらこちらを磨き上げていました。

教室では掲示物を外したり、扇風機のほこりをとったり、配膳台もゴシゴシと黒ずみを落としていました。家庭科室では、ガスレンジの周りについた油污れをスポンジで磨いていました。昇降口では、一輪車を外に出して水をまき、すみずみまできれいにしていました。とってもよく働く「とやっ子」です。



家族のひとりとして、働くことの大切さ

私も、冬休みになると家族と一緒に大そうじをしました。私の母は「29日までには大そうじを済ませる。一夜飾りにならないように、30日にはお飾りを飾る」と言って、次から次へと用事を言いつけてきました。「玄関を掃いて」「窓を拭いて」「台所の床も拭いてね」……と、たいして役には立っていなかったのかもしれませんが、子どもの私は「年の瀬とはこんなものだ。頑張らなくてはいけない」と一所懸命に働いた思い出があります。夜になると、お米やさんから届いたのし餅を切り、お餅の端っこを口に入れてもらいました。「今日はお疲れ様、助かったよ。ありがとう」と言われると、なんだか満足感があって、嬉しかったのを覚えています。

家の仕事のことで、叱られたことも覚えています。4年生の時のことですが、週に一度、台所の床拭きをするのが私の仕事でした。その日は友だちの誕生日会があり、早く行きたくて家を出ようとしたのですが、まだ台所の掃除が終わっていないので、床拭きをしてから行くように言われました。「楽しみにしていた日なのに」と思ったら、なんだか悲しくて、悔しくて涙を流しながら床を拭き、約束の時間に遅れて行きました。今にして思えば、早めにすませておけば問題のないことだったのですが、その時はなんてひどい母だと思いました。母にしてみれば、自分がやってもどうということはないのでしょが、家族のひとりとして働くことの大事さや、責任を持つとはどんなことかを教えたかったのでしょうか。

この冬休み、子ども達も家族のひとりとして、家の仕事を分担することと思います。ぜひ、お家の方達と一緒に働き「助かったよ。ありがとう」と言ってもらえる機会が、たくさんあるといいと思います。どうぞ、よいお年をお迎えください。

安全な登下校

日々の積み重ねを中心に

本日、12月22日 2学期の終業式を迎え、集団による登下校も、最終日となりました。

毎日ご協力をいただいている、遠藤徳栄さん、小林資生さんをはじめとする「安全ボランティア」さんや地域の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度は、PTAのご協力等により、中上地区の県道グリーンベルトの塗り直しが土木事務所の事業として行われました。また、横断旗の整備・補充も随時進めています。

そんな中での集団登下校ですが、並び方・歩く速さ・集合時間などで、改善される面もありますが、まだまだ安全面などで課題が残る班もあります。

そんな時本校では、班員を全員集めて担当が指導しています。班によっては、昼休みに並んで歩く練習をすることもあります。また、安全ボランティアさんの声や、班長会議などで情報を集め、指導・改善に生かすようにしています。

集団による登下校は、日々の取り組みや指導の積み重ねが、安全に直接結びつきます。全校115名全員が元気に冬休みを過ごし、楽しい3学期のスタートが切れることを願っています。



↓ 12月5日 代表委員会で「冬休みの約束」について、じっくり話し合い、決めました。



今年の約束は、「ゆきだるま」になりました。

ゆっくりすいみん

きをつけよう交通事故

だいじな手伝いすぐしよう

るす中とじまり、忘れずに

まいにち 勉強

休日も入れると18日間の冬休みになります。安全とともに、思い出もたくさん作ってほしいです。

マーチングバンドの引き継ぎ 練習も順調です。 →

12月15日（木）には、6年生は最後となるマーチングバンドの引き継ぎが行われました。6年生が4・5年生に熱心に教えている姿が、たくさん見られました。来年の運動会に向けての準備がスタートしました。



書き初め練習

尾澤富美枝先生に
ご指導していただきました。

今年も、12月12・19日の2日間にわたって、3～6年生の書き初め練習のご指導を「尾澤富美枝先生」にさせていただきました。全体指導の他、会場を巡回して子どもたちに声をかけ、朱墨汁を使った実技指導もしていただきました。

尾澤先生には、1月13日の書き初め会当日のご指導もしていただきます。



書き初め展示のご案内

来年1月23日（月）から29日（日）まで、体育館に展示いたします。なお、28日（土）は、休日のためお休みです。また、29日（日）は、日曜参観日のため1日見学することができます。

12月2日（金）5・6年生

神奈川県指定無形民族文化財 **鳥屋の獅子舞**にふれました。

当日は、保存会の飯倉会長さんと、荒井さん 山本さんにお出でいただき、歴史についてのお話とともに、5年生は「ささら」を演奏、6年生は、代表の友だちが獅子頭をつける体験をしました。特に、獅子頭をつけての体験は、教室全体がおそろかな雰囲気となり、見ている友だちも含めて伝統芸能にふれたひとときでした。「鳥屋獅子舞保存会」の皆様 ありがとうございます。



☆ 師走となり、校庭や農園はすっかり冬景色です。☆

たくさんの行事があった2学期ですが、農園活動・図書館活動・読み聞かせ・音楽会等、地域の多くの皆様のご支援、ご協力により、子どもたちの活動が充実し、満足感を得ることができました。ありがとうございました。

12月の鳥屋小学校は、校庭の木々もすっかり葉を落とし、雪をうっすらとかぶった「焼山」が、美しい姿を見せています。また、6年生が古代米を作った「水田」は、一面が凍りつき、真っ白な世界に変わっています。

↓中央奥の頂きが「焼山」です。

↓凍結した「水田」の横をわき水が流れています。



編集後記

十二月九日の初雪にはじまり、冬らしい寒さの日々が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。九月十月の暑さがなつかしくなるような今日この頃の厳しい寒さです。そんな中で長かった2学期（登校七十六日間）が終了いたしました。子どもたちはとても元気で、少し増えていた「かぜ」による欠席者も落ち着いてきました。中休みや昼休みには、寒さの中でも校庭で元気に遊ぶ姿がたくさん見られました。十八日間の冬休みで会えなくなる友だちとのしばらくのお別れを惜しんでいるようにも見えました。

2学期のご協力に感謝するとともに、一月二月の寒い時期も乗り切れますよう、なお一層のご協力をお願いいたします。冬休みは、一月九日までの十八日間で、昨年より一日多くなっています。寒い中ですが、地域に出での活動も多くなると思っています。安全面でのお声かけ見守り等、冬休み中もよろしくお願いいたします。いろいろなところありがとうございました。

教頭 岸

1月の行事予定

- 10日 始業式 安全点検
- 12日 給食開始 登校班会
- 13日 書き初め会 委員会
教育カウンセラー
- 16日 朝会 英語活動
- 20日 教育カウンセラー
わかばっ子タイム発表1年
- 23日 英語活動 PTA運営委員会
書き初め展 開始

23日～27日・29日

書き初め展

28日（土）は、お休み

- 24日 クラブ活動
- 27日 教育カウンセラー
- 29日 日曜参観日
- 31日 振替休業